



八頭町立郡家東小学校 学校だより
ふるさとを愛し 志を立て 自立して生きる児童の育成



輝く瞳をもつ子供

第7号 R5. 9. 29
八頭郡八頭町稲荷310番地
TEL 0858-73-0010
FAX 0858-73-0011
E-mail
kogee-e@mailk.torikyo.ed.jp



芸術文化・スポーツ・・・充実の秋

盛田里美

仮校舎での生活も早いもので1ヶ月が過ぎました。最近、プール周辺の解体工事が始まり、プール側の学年はかなりの騒音です。しかし、このような環境の変化にもかかわらず、東っ子は惑わされることなく学習に集中しています。「どんな環境でもできる力がある」と、来校してくださった方々も褒めてくださいました。

世の中に目を向けると、アジア大会・ラグビーワールドカップ・ワールドカップバレー等々、スポーツの大会が目白押しです。緊迫した場面で自分の力を出し切る選手の姿を見たり、活躍の裏にどのような努力があったのか想像をしたりするといつも熱いものがこみ上げてきます。8月の全国高校野球選手権で優勝した慶應義塾高校は「坊主頭ではない」ことが話題になりがちですが、野球の練習と同じくらい人間力を高めることに力を入れたそうです。本校が取り組んでいる「立腰」「黙動」も人間力を高めることにつながっています。

『立腰こそは、実は性根（しょうね）の入った人間になる「極秘伝」なのであります。いったん決心したことは、石にかじりついてでも必ずやり抜くというエネルギーは、この腰骨を立て通すことによって、はじめて十分に発揮できるのであります。』

・・・人間の体と心とは、相即一体のものでありまして、心をシャンとしようと思えば、まず体をシャンとしなければならぬのであります。それゆえ人間も腰骨を立て通すことによって、体も心もシャンとして、集中力や持続力が出てくるのであります。』

（森信三 10代のための人間学より）



「どんな環境でもできる力」は、何年も続けてきた「立腰」も関係しているのだと思います。特別活動を大事にし続けていることも、子供たちの力になっています。9月24日に行った運動会では、自分の演技を頑張ることはもちろん、役員の仕事に駆け足で向かう姿、友達や自分のチームを一生懸命応援する姿などすべてが輝いていました。『最後まで熱く燃えろ 最高の運動会にしよう』のテーマにふさわしい自分たちの姿を、それぞれの学年なりに具体的なものにして、主体的に準備や練習に取り組んだ成果でした。

暑さもようやく和らぎいろいろなことに落ち着いて打ち込むことができるこの秋に、11月のマラソン大会や2学期に力を入れている読書など新たな目標を持って取り組んでいきたいと思っています。

